

ワクチン接種会場で県内初

高齢者フレイル診断

津和野町 待機時間に、即結果



タブレット端末を用いてフレイル(虚弱症状)診断を行う町民一津和野町日原、町役場日原第2庁舎

津和野町内で30日、新型コロナウイルススワクチンの高齢者向け接種に合わせたフレイル(虚弱状態)診断が始まった。集団接種会場での待機時間を活用

した県内初の取り組みで、タブレット端末を用いて町職員が65歳以上の高齢者に介護予防の情報を提供する。フレイルは、加齢とともに

に心身の活力が低下して生活機能に問題が出てくる状態で、後に要介護となるリスクが高い。この日は、町役場日原第2庁舎(同町日原)で接種

を終えた20人の高齢者が、前「可能性は低い」の3段階で評価され、印刷された診断内容を町職員が説明した。診断を受けた同町日原の青木久美子さん(68)は「職員の説明も分かりやすく、診断結果がその場で確認できるのがよかった」と話した。次回は5月10日に集団接種とフレイル診断を行う。(石倉俊直)

しまね
shimane